

平成 23 年度第 4 回東久留米市市民環境会議会議録

会議名	平成 23 年度第 4 回東久留米市市民環境会議
日 時	平成 23 年 7 月 27 日 (水) 19 時～21 時 05 分 まろにえホール集会学習室 4
出席者	出席委員数 18 名 欠席委員数 6 名
出席事務局職員	環境政策課長 同主査（政策調整担当） 同主査（みどりと公園担当） 同主事（生活環境担当）
次 第	1. 開会あいさつ 2. 職務代理者の指名について 3. 事務局からの報告 4. 平成 23 年度第 2 回市民環境会議会議録(案)の確認 5. 平成 23 年度第 3 回市民環境会議会議録(案)の確認 6. 第 3 期市民環境会議活動計画について 7. その他 8. 部会活動
配布資料	平成 23 年度第 2 回市民環境会議会議録（案）…資料 1 平成 23 年度第 3 回市民環境会議会議録（案）…資料 2 第 2 期 東久留米市市民環境会議 報告書 …資料 3 東久留米市緑の基本計画策定検討委員会 第 1 回議事次第及び委員名簿 …資料 4
会議の内容	1. 開会あいさつ 省略 2. 職務代理者の指名について 本日の会議は座長が欠席のため、職務代理者が決定するまで、環境政策課長が進行。事務局から委員に「座長は駒田委員を職務代理者に指名したいとの発言があった」旨の報告を行い了承される。 3. 事務局からの報告 ① 6 月 11 日、環境フェスティバルで「湧水・清流保全都市宣言」を発表した。記念品の寄贈を受け、現在は市長室の横に飾ってある。これからの設置場所を相談したい。 ② 環境基本計画の中間見直しについて、コンサルタント会社が(株)地域総合計画研究所に決定した。7 月 25 日に第 2 回環境審議会を開催し、今後のスケジュール等を確認した。 ③ 緑の基本計画策定について、7 月 25 日に緑の基本計画策定検討委員会（第 1 回）を開催した（資料 4）。委員長は環境審議会選出の松永氏、職務代理者は市民環境会議選出の豊福氏となる。コンサルタント会社はアジア航測（株）に決定した。会議録等は市 HP で公開予定である。 ※②③の検討状況は、事務局が市民環境会議に報告する。但し、基本的に両委員会は傍聴可。 ④ 前回配布した資料「東久留米市市民環境会議を進めるにあたっての約束ごと」に「新しい提案がある場合は、まず部会で議論しましょう」とある。これに対し「以前、市民環境会議内で決定したことと異なる」との意見があった。事務局からは「各部会で検討できる内容のものは各部会で検討してから提案をしてほしい。全体会にかかることについてはこの限りでない」との説明があり、

了承された。（「東久留米市市民環境会議を進めるにあたっての約束ごと」を一部修正）

- ⑤ 行政と訴訟などで利害関係のある者が市民環境会議に参加している件について、市民の権利として事務局からはそれを制限することができないとの説明があった。

- ⑥ 市民環境会議が進める取り組みで、全体会または各部会から新規の取り組みの提案がある場合は、必ず事前に事務局との調整をお願いする。

4. 平成 23 年度第 2 回市民環境会議会議録(案)の確認・・・資料 1

5. 平成 23 年度第 3 回市民環境会議会議録(案)の確認・・・資料 2

平成 23 年度第 2 回及び第 3 回市民環境会議会議録(案)の確認がそれぞれなされ、了承された。

6. 第 3 期市民環境会議活動計画について

各部会から、今年度の活動計画をする予定であったが、まだ計画内容を検討していない部会もあり、次回に持ち越すこととし、「第 2 期 東久留米市市民環境会議 報告書」（資料 3）の「V 提案」も踏まえて今期の市民環境会議の進め方について審議することとし、提案部分を朗読し、意識の共有をした。その後、この提案について各委員から次のような意見があった。本日の残り時間では、今期の各部会活動を検討し、次回の全体会で発表する。

前期 5 月の会議の際などで、この報告書に対して出された意見について、どのような対応をされたかを説明してほしい旨の発言があり、前座長が対応についてのメモを作成し前期委員に配布する。

① 提案 1 『「湧水・清流保全都市宣言」発表以降の取り組み』について

- ・前期の湧水・清流保全都市宣言で挙げられた盛り上げ策もあるが、今期は今期として改めて考えていくことも必要。
- ・取り組みについての検討は、主として水とみどり部会が引き継いでいくとの方向もあったが、全体として取り組むというスタンスが必要。全体でプロジェクトチームとして取り組むことも考えられる。
- ・今後、各部会で今期の活動方針を考える中でこの取り組みについても検討する。
- ・宣言後の担当部署である環境政策課のスタンスを明確にしてほしい。

⇒ 環境ウオッチング、環境シンポジウム等色々な場面で発信していきたい。

- ・最終的な到達点はどこにおくか？

⇒ 今、行政として示すことは難しい。皆さんと一緒に考えていきたい。

② 提案 2 「環境基本計画実現のための連携」について

- ・3つの会議組織（環境審議会、庁内環境委員会、市民環境会議）の連携については、定期的な開催と言うよりはテーマが明確であれば適宜開催していきたい。協働は不可欠である。
- ・3つの会議体の中心に位置する事務局の役割に対する期待が表明された。

③ 提案 3 「市民環境会議運営体制の強化」について

- ・部会長の会議を定期的開催する方向で検討する。
- ・市民環境会議の中に、核となる事務局的作用を担っていく組織の設置の必要性については了解されるが長期的な目で考えていくことが必要。
- ・小金井市、日野市のように、同様の会議体が行政から独立した組織として活動しているところもあり、参考として勉強していくことも必要。

④ 提案４「環境基本計画、緑の基本計画の改訂にあたって」について

- ・環境基本計画中間見直しにおける市民環境会議の関わりについて。

環境審議会で検討していく。

数値目標がないため、検証が難しい。ホームページでの公表の要望あり。

- ・緑の基本計画検討委員会には本会議から３名の委員が参加しているが、会議の代表ということではなく、個人としての意見の表明がなされるものである。

その他・前期提案以外について

- ・「かんきょう東久留米」の内容を充実してほしい。

⇒ どのように充実すればよいか市民環境会議で提案をしてほしい。

７．その他

くらし部会より、「緊急節電チャレンジ in とうきょう」の記入シートの提出の要望があった。

(全体会終了時刻 20 時 40 分)

８．部会活動

部会活動を行った後、解散。

(終了時刻 21 時 05 分)